

令和7年度（令和6年度決算）上板町学校給食センター

事業名	学校給食事業					
事業費 (千円)	150,642	財源	国庫 8,700	県費	その他 33,962	一般財源等 107,980
目的	学校給食事業は、上板町内の4幼稚園、4小学校及び中学校に所属する全ての子ども達に対し学校給食を提供することを目的とする。					
対象・内容等	<p>1. 学校給食の提供</p> <p>給食費 幼稚園・小学校 250円/1食当たり 中学校 270円/1食当たり</p> <p>1日当たりの提供数 973食（令和6年5月1日時点）</p> <p>上板中学校 291名 上板町内小学校 518名 上板町内幼稚園 148名 給食センター 16名</p> <p>2. 学校給食を活用した食育の推進（地産地消・食品ロス削減）</p>					
実績等	<p>1. 学校給食提供数 182,340食（内 牛乳のみ 554食）</p> <p>歳入：給食費等収入 33,962千円</p> <p>歳出：原材料費 44,154千円 加工委託料 15,315千円 調理委託料 43,956千円</p> <p>2. 食育の推進</p> <p>「社会的課題に対応するための学校給食の活用」事業</p> <p>残渣等の再利用によるゴミの削減量 3.28t</p>					
成果等	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成 <input type="checkbox"/> やや不十分 <input type="checkbox"/> 不十分		<p>学校給食は、成長期にある子ども達の心身の健全な発達や、健康の増進、体位の向上を図る事はもちろんのこと、食育に関する生きた教材として重要な役割を担うものである。</p> <p>学校給食センターにおいても、地場産物の活用や食品ロスの削減を実施しながら、安全でおいしい給食を提供できたと考える。しかしながら、危険異物の混入等による給食の中止はなかったものの、不快異物等の混入が発生しており、さらに衛生面を強化していく必要がある。</p>			
次年度以降の取組み	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する					